

平成23年度 第3回沖縄県公共工事入札契約適正化委員会 議事概要

開催日及び場所	平成23年12月13日 沖縄県庁11階第1・2会議室	
出席者氏名	幸喜 令信 有住 康則 上江洲 純子 小那覇 涼子 真喜屋 治 野原 優子	
審議対象	平成23年4月1日～平成23年7月31日	
再苦情処理件数	件数 0件	(備考)
入札審議件数	総件数 145件	
一般競争入札	4件	
指名競争入札	5件	
随意契約	1件	
	意見・質問	回答
委員からの意見・質問、それに対する回答	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申の内容	なし	なし

**平成23年度第3回 沖縄県公共工事入札契約適正化委員会
抽出事案一覧**

一般競争入札			
	工事名	工種	担当課・所
①	喜舎場地すべり対策工事(H23-1)	土木工事	中部土木事務所
②	伊良部大橋橋梁整備第7期工事(平良取付道路その8)	土木工事	宮古土木事務所
③	首里高校管理・特別教室棟改築工事(建築1工区)	建築工事	施設建築課
④	南大東漁港(北大東地区)掘削工事(23-2)	土木工事	漁港漁場課

指名競争入札			
	工事名	工種	担当課・所
⑤	本部港(本部地区)耐震岸壁(-9.0m)ケーソン製作工事(H23-1)	土木工事	港湾課
⑥	安里川河川改修工事	土木工事	南部土木事務所
⑦	H23中城湾港(新港地区)東埠頭電気設備工事	電気工事	中城湾港建設事務所
⑧	H23新石垣空港環境整備工事(その1)	造園工事	新石垣空港建設事務所
⑨	宜野湾浄化センター第3系送風機棟建築工事その2(B棟)	建築工事	下水道建設事務所

随意契約			
	工事名	工種	担当課・所
⑩	浦添大公園集塵庫新築工事	建築工事	中部土木事務所

平成23年度 第3回沖縄県公共工事入札契約適正化委員会 議事概要

意見・質問	回答
<p>Q 1 「伊良部大橋橋梁整備第7期工事（平良取付道路その8）」について、27社のうち19社が追加資料提出辞退となっておりますがその要因としてどのようなことが考えられますか。</p>	<p>A 1 低入札調査基準価格以下の場合、品質確保や施工体制の確認のため追加資料の提出を求めています。資料提出に手間がかかる、評価が厳しくなることなどを考慮した結果、辞退したものと考えられます。</p>
<p>Q 2 「南大東漁港（北大東地区）掘削工事（23-2）」と「安里川河川改修工事」で、最低制限価格と同額入札になったのは担当部署としてどのように考えておりますか。</p>	<p>A 2 「南大東漁港（北大東地区）掘削工事（23-2）」について、工事内容が簡単で積算が容易であることが大きな原因だろうと思います。また、予定価格の設定が10万円単位になっているのも大きな理由で、6月28日の改正以降そのような事例はございません。 「安里川河川改修工事」については前年度、前々年度に似たような工事を行っており、工事が単純なものであることが原因であると思われます。</p>
<p>Q 3 「首里高校管理・特別教室棟改築工事（建築1工区）」について評価項目の施工上の配慮で0点の業者が多い理由を説明して下さい。</p>	<p>A 3 本工事については施工上配慮すべき事項を提案してもらっております。配慮事項が現地の環境状況を踏まえており適切である場合、通常の当たり前の施工でやる場合は0点。その配慮事項が現地の環境状況を踏まえて適切でありさらに工夫が見られる場合には7点。さらに優れた工夫が見られる場合は15点としております。通常の施工の場合には0点とし、その中でも工夫が見られるものだけに点数を与えるという考えですので0点の業者が多いということです。</p>
<p>Q 4 「本部港（本部地区）耐震護岸（-9.0m）ケーソン製作工事（H23-1）」について、FD船に関して保有している場合と傭船契約する場合とで品質の違いは出ますか。また、保有している会社にインセ</p>	<p>A 4 船自体は作業上の台という位置づけになるので、船を所有している場合と傭船契約している場合とで、品質が違うというのは考えにくいと思われます。 また、船を保有している場合は船を借りてくる場合に比べ安く見積りをすることが出来るということで見積りの部分で差が出るのが想定されます。</p>

ンティブは与えられないの
ですか。

Q 5

1つの工事を何期かに工
区分けをしてやる場合の不
具合等に対し、県は業者と
の間で改善のためどういっ
たことを行っていますか。

Q 6

総合評価方式を随時拡大
していくと、前回の委員会
で回答を頂きましたが、そ
の後の進捗状況を説明して
下さい。

Q 7

本事案については直接関
係ありませんが、識名トン
ネルの問題についてご存じ
の方、担当の方がいたら詳
しく説明して下さい。

Q 8

今回の識名トンネルの事
案についてもそうですが、
本委員会のあり方、抽出件
数など運営の仕方自体が問
題になって抜けが出たと言
うことも考えられるので、
抽出方法や運用について検
討した方が良いのではない
でしょうか。

A 5

施工業者を集めて工程会議を行ったり、施工手順も含め
て調整をしたり、また、現場監督員の方から施工業者に指
示をして不具合を是正するというをやっております。

A 6

土木建築部では、年度当初に今年度約150件を目標に
たて、上半期で約7割が終わっております。下半期に残り
の分の工事を計画し、目標を達成したいと考えております。

A 7

識名トンネルの問題については、別個の第三者委員会で
審議して頂いております。なぜ本委員会で審議しなかった
のかということについては、当問題は入札契約の適否だけ
ではなく、工事の進捗のあり方、補助金の申請や執行の適
正など、入札契約以外の部分も含めて審議する必要がある
のではないかとということで、個別の委員会で集中審議を
して頂いております。その委員会の結果については、今年度
最後の委員会で担当課から報告させて頂きたいと考えてお
ります。

A 8

入札、契約については色々な課題がまだまだたくさんあ
ると思いますので、委員のご提言を受けまして、委員会の
あり方や抽出件数等も含めまして、委員会がよりよい委員
会になっていくような形で運営していきたいと思えます。